

留 学 報 告 書

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文： カリフォルニア大学バークレー校 現地言語： University of California, Berkeley
留学期間	2019年5月～2019年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年8月21日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期： 2学期： 3学期： (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	41910
創立年	1868

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	5500	588500 円	
宿舍費	5810	621670 円	
食費	800	85600 円	
図書費		円	
学用品費	100	10700 円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費		20855 円	形態:
渡航旅費		円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
その他		円	
合計		円	

渡航関連

渡航経路:

渡航費用

チケットの種類

往路 25290

復路 12600

合計 37890

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の国際寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学の説明会で知った

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

個室だと少し寂しいと感じる人もいますがルームメイトに気を使わずに夜中でも勉強ができるのでオススメです。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

友人に相談した

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

大学から犯罪情報などをメールを通して受け取っていました。治安が悪いとされる地域にはいかないようにしていました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

問題なく使えました

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを使用していました。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本の食べ物

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

指定したクレジットカードでの支払い

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
金融
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学開始以前は就職活動に関してあまり意識していませんでしたが、他国の留学生と交流した際に就職に関してすでに考え始めている生徒が多かったこともあ就職に関して自分も考えなければならぬと感じました
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Culture and Natural Resource Management	文化天然資源管理
科目設置学部・研究科	
履修期間	5月26日-7月2日
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Ted Grudin
授業内容	講義の際に歴史的な出来事などについての講義を受けそれについてディスカッションの際に他の生徒と話し合う
試験・課題など	毎週レポートを提出、中間テスト(記述)
感想を自由記入	環境についての論文などを読みそれについてレポートを書くという課題が出ました。論文を第二言語で読むというのはやはり難しいことなので最初は苦労しましたがクラスメートからの助けもありどうにか乗り切ることができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Fundamentals of Population Science	人口学
科目設置学部・研究科	
履修期間	7月6日-8月14日
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が4回
担当教授	Byron Villacis
授業内容	基本的に教授が講義を行い週の終わりにディスカッションを行う
試験・課題など	課題は毎週末出され(授業で扱われたトピックを元に作られた問題を解く)、期末試験あり
感想を自由記入	授業で扱われる計算に苦戦することもありましたが人口に関して計算を通して考えるというのは興味深く楽しめました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Human Nutrition	栄養学
科目設置学部・研究科	
履修期間	
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、ディスカッション(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に120分が3回(講義)90分が1回(ディスカッション)
担当教授	Casey Prince
授業内容	栄養に関して教授が説明をし、ディスカッションセッションでも通常授業のように教授が講義していました。
試験・課題など	試験3回あり
感想を自由記入	栄養や身体に関する専門用語を多く暗記しなければならないため履修した授業の中でも最も苦戦した授業でした。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	1 2月 選考
2019年 1月～3月	語学勉強、留学準備(書類準備)、出願
4月～7月	7月前半 セッション A 期末試験
8月～9月	8月中旬 セッション D 期末試験
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	私は高校時代にも留学をしていました。その留学を通して留学から得られる恩恵を実感しました。例えば、留学をする中でそれぞれの国の政治について他国の生徒と話すことによって日本のメディアではあまり語られていない視点からの意見などを知ることができます。こういった経験を高校時代にすることができたということはアメリカの大学に留学することでさらに深い話をできるのではないかと感じたのが私が留学をしたいと感じた一つの理由です。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学を開始する以前に準備したこととしては英語の多読をし英文を読んだ際の理解力の速度や文章自体を読む際の速さの向上などです。アメリカの大学の授業では授業で扱われる内容に関連した論文などを読みそれについて理解し自分自身の意見をエッセイなどの形で表す機会が多くあります。授業で扱われる論文は専門的な分野についてのことが多くまた比較的長い傾向があります。従って留学前に多読を繰り返し英文に慣れておくことは重要だと感じました。
この留学先を選んだ理由	カリフォルニア大学バークレー校は世界でも有数の大学だということは留学を開始する以前から聞いていました。そうした中で大学の留学説明会に参加した際にそのバークレー校へ明治大学から留学しサマーセッションに参加することができると知りました。そのバークレー大学に留学することで現地の優秀な学生と様々なことについて話す機会を得ることができるのではないかと考えたのが私がバークレー校を留学先の大学として選んだ理由です。
大学・学生の雰囲気	私が留学したカリフォルニア大学バークレー校の大学としての雰囲気は日本の大学とは異なる部分がいくつかありました。例えば、バークレー校の生徒は授業内で発言するということに対して積極的でした。日本では教授が説明している際に挙手をし質問をしたり教授が説明していることに対して意見することなどはあまりありませんがバークレーの授業ではそうした光景が多々ありました。また生徒の学習に対する態度も真剣でした。大学には図書館がいくつかありましたが夜になるまで多くの生徒が毎日学習していました
寮の雰囲気	寮の雰囲気はとても良く知り合いを作りやすい環境であったと思います。例えば寮にあった食堂には個別のテーブルが用意されているわけではなく大きいテーブルがいくつか設置されていました。そのため今まで交流したことがない生徒の隣に座ることなどが多くなり必然席に友人を作る機会が多くありました。またフロントに大きなテレビが設置されており何か大きなスポーツの試合などがあった際はそのテレビで他の生徒と試合を見ることができ共に応援しているという一体感を得ることができました
交友関係	私は寮へ申し込む際に一人部屋を選んでいたので留学を開始した当初は友人をうまく作るができるのかについて少し不安を感じていました。しかし、寮の食堂でご飯を食べている時などに隣に座っている生徒に積極的に話しかけることで友人を増やすことができました。そういったことを通して仲良くなった他の生徒と一緒に街へ遊びに行くなど実りのある時間を過ごすことができました。また私はサッカーが好きだったので同じ趣味を持つ人とサッカーについて話すことで友好関係を築くことができました。

困ったこと, 大変だったこと	大変だったこととしては他の国の生徒と政治的な話や過去の歴史的な出来事について話す際に発言すべきではないことなどについて意識しながら話すということでした。他の国では異なる教育やメディアの情報発信が行われているため、そういった環境で育ち私とは異なる価値観を持つ人と話をすることが好きなため、機会があればそういった出来事などについて話していました。そういった中で相手を不愉快にすることなく会話をするという意識するのは大変でした。
学習内容・勉強について	私は人口学、栄養学、環境資源という授業を取っていました。どの授業もやはり大学の講義であるだけありそれぞれに分野の専門的な領域に踏み込んだ内容を扱うことも多くありました。そういった専門的な授業を受けた後にディスカッションセッションで他の生徒と議論する機会などがあったのですが、専門的な内容に加え扱われる単語自体も専門用語が多かったためディスカッションについていくことに少し苦勞しました。しかし日本では得ることができないことであり、良い経験になったと思います
課題・試験について	課題量はやはり日本の大学と比べればかなり多かったと思います。日本の大学では論文を読みそれについて自分の意見をエッセイで書くということはそれほど多くありませんが私が取っていたパークレーの授業では毎週のようにその課題が出されました。またその論文の内容が抽象的なことが多く理解するのにかなり苦勞したことがありました。その課題に加え期末試験の範囲もかなり広いということが多くテスト前は多くの時間をテスト対策に割かなければなりませんでした。
大学外の活動について	大学外の活動としてはサッカーなどをやっていました。私はサッカーが好きだったため、同じくサッカーが好きという生徒と仲良くなり彼らとサッカーをしていました。大学内で話をするだけでも仲良くなることはできますがサッカーというチームスポーツを行うことで一体感が生まれより良い友好関係を築くことができたのではないかと考えています。このように同じ趣味の人を見つけ仲良くなるということは留学先で友人を作る際に重要だと感じました。
留学を志す人へ	留学をする上で知っておいてほしいこととしては、やはり海外でも人気のあることなどについてある程度精通しておいた方が良いということです。例えば私はサッカーという世界中で人気のあるスポーツが好きだったこともありそれについてある程度の知識がありました。そのため初対面の人と話す際に共通の話題（この場合だとサッカー）があったのでそれについて話が弾み友人を比較的容易につくることができました。上記のことを行うだけでも留学がより実りのあるものとなるはずです。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中							
午後	授業	授業	授業		授業		
	授業	授業	授業		授業		
夕刻				サッカー			
夜			ihouse 交流会				